



雪舟からめ手紙

雪舟が滞在した雲谷庵をはじめ、ギョウリリーシマダ、木町ハウス、様々なレジデンスが自然に発生した豊かな山口の文化土壌を美術領域で紐解き、雪舟が滞在した雲谷庵跡で展覧会を開催します。

木をみて森を観る



山口の“木”を
アートのリサーチ

招聘アーティスト
山本修路

滞在制作期間 10/15 ~ 11/15 (30日間)

2023.11.10 (金) ~ 11.12 (日)

11:00 ~ 17:00 (※最終日 16:00 まで)

参加作家

伊勢 武史 坂本 杏苑 嶋田 日出夫
白川 美幸 舛井 岳二 山本 修路

会場 雲谷庵跡 山口県山口市天花一丁目 12-10

主催 Do a Front

助成 大内文化特定地域活性化事業補助金

後援 山口市、山口現代芸術研究所 (YICA)

協力 山口大学教育学部中野良寿研究室、山口大学人文学部藤川哲研究室、株式会社インターン、N3ArtLab

連絡先 Do a Front 電話 070-4788-5825 E-mail info@doafront.org 担当：藏田 章子

雪舟が住んだアトリエ

“雲谷庵”跡での展示

作家



舛井 岳二 Gakuji Masuji

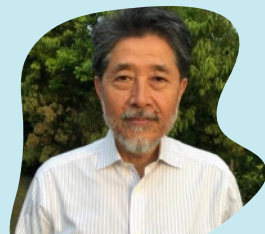
1979年山口生まれ 萩の窯元で12年の修行を経て2021年春に山口市にある洞春寺内の納屋を改装し、開窯。自然に囲まれた心地よい環境で作陶



白川 美幸 Yoshiyuki Shirakawa

山口生まれ。1992年、ニューヨーク、スクール・オブ・ビジュアル・アーツ (SVA)、ファイン・アーツ科、マスタープログラム修了。

80年代後半から、メディアの環境の中で生活する私たちが持つ共感の構造と質に疑問を投げかける一連の作品「安全拷問シリーズ」を制作してきた。それと並行して、小さな生物を拡大させたり植物の生体電位シグナルによって動作する作品「増幅シリーズ」など、環境問題を意識しながらのインスタレーションの作品を中心に制作している。



嶋田 日出夫 Hideo Shimada

1954年山口市に生まれる。1977年東京藝術大学美術学部絵画科(油画専攻)卒業後、1978年デュッセルドルフ美術大学(ドイツ)に留学。1983年同大学のゴットハルト・グラウプナー教授のもとでマイスター・シューラーとなる。1984年帰国以来山口市に在住。1984年山口市内にギャラリー・シマダを開設。1998年山口現代芸術研究所(YICA)設立に関り、以来メンバー。山口市内の建設会社社長を経て、2014年より再び芸術活動(制作)に軸足を移し、2014年に山口市、2015年に群馬県渋川市にて個展開催。その後、毎年グループ展に参加し、継続して作品発表を行っている。



坂本 杏苑 Kyoen Sakamoto

梅光女学院大学文学部日本文学科書道課程卒業。墨象、墨による抽象表現を含めた書で、未だ夢幻自在な墨色に魅せられている。私の住んでいる場所は、海沿いの街で背後に山、小川、鳥の囀り、土に恵まれている。その中で森羅万象循環しながら移ろっていく姿を見ると、そこに本当の美しさが潜んでいる事を感じ、心地いい方向へ流れて行きたいと、制作している。2000年より各地で、個展、グループ展、多数。

アーティスト・イン・レジデンス 事業設計²
現場運営を数多く担当した経験から



さっぽろ天神山
アートスタジオ
ディレクター

小田井 真美 Mami Odai

さっぽろ天神山アートスタジオ AIR ディレクター
1966年広島市生まれ。3ART PROJECT(東京)、npo S-AIR(北海道)、Trans Artists(オランダ)、アーカスプロジェクト(茨城)、VISUAL ARTS FOCUS(フランス)など国内外のAIR事業とその背景に関するリサーチ及び、AIR事業設計・事業運営や創造的活動支援の環境整備に多数関わる。2023年現在、アートとリサーチセンター、チームやめようメンバー。

3つの視点から探る“山口”

シンポジウム

アーティストインレジデンスとリサーチ

2023.11.10(金)

19:00~20:30 (開場15分前)

会場 菜香亭 山口市天花 1-2-7

学術的視点から
探る“山口”



京都大学
フィールド科学
教育研究センター
准教授

伊勢 武史 Takeshi Ise

1972年徳島県生まれ生態学者。京都大学フィールド科学教育研究センター准教授。ハーバード大学大学院進化・個体生物学部修了(Ph.D.)。専門は森林生態学とコンピュータシミュレーション。地球温暖化から人類の進化まで、人と自然の関わりを考えることがライフワーク。主な単著に『学んでみると生態学はおもしろい』(ベレ出版、2013年)、『生態学者の目のツケドコロ』(ベレ出版、2021年)など。

森をみるとその植生がわかる特技をもつ作家
日本の歴史とその植生から探る“山口”



作家

山本 修路 Shuji Yamamoto

作家。多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。庭師のバックグラウンドを持ちながら、「大自然と人間の関わり」をテーマに日本各地でフィールドワークを続け、農作から携わる酒造・メープルシロップづくりから、林業についての考察など、その活動は多岐にわたる。青森県内での活動として、十和田市現代美術館に彫刻作品を恒久設置(2008年)、「Aomori Spring Sprout展—青森春に芽吹く光—」(青森県立美術館県民ギャラリー、2022年)に参加。